

ねぎとろ丼を「聖地」で

横浜スタジアムのそばに14日、横浜DeNAベイスターズにちなんだメニューを取りそろえる「BAM・BAM番長」がオープンする。横浜市中央卸売市場(神奈川区)内の「竹家食堂」を家族で経営するベイスターズファンの飛田和晃さん(42)が、4年前に三浦大輔投手(40)への愛を込めて作った丼「ねぎとろ番長」を掲げ、「聖地」に乗り込む。

「BAM・BAM番長」あす開店 横浜



BAM・BAM番長の看板メニュー「ねぎとろ番長」

ようと考案した。名称は「マシガン打線」で日本一になった98年当時を思い起こさせる「マシガンポテト」など、ファンの喜びそうなメニューを並べる。値段も大部分は、三浦投手の背番号「18」から1018円(税抜き)とするこだわりよ

うだ。【酒井雅浩】

「ベイスターズファンが集い、騒げる店に」

14日は、午後6時(18時)18分に開店。午後6時台や毎月18日は、サイコロの目によってねぎとろ番長を180円(税抜き)で食べられるイベントを開く。「ファンが集い、飲んで騒げる店にしたい」と飛田さん。三浦投手の来店を心待ちにしており「メニューにはないが、大好物のジンジャーエールを常備しておく」という。

横浜市中区弁天通3。午後5時~午前0時。日曜、祝日休み。問い合わせはBAM・BAM番長(045・681・5606)へ。

大和の弁当工場「炊き出し」訓練

電源確保手順も

幼稚園向けの弁当などを作っている「安田物産」の大和工場(大和市深見西)で12日、炊き出し訓練が行われた。この工場では東日本大震災後、電気やガスの供給が止まっても独自に稼働できる設備



タンクに貯蔵したLPガスで発電機を稼働させる様子を見学する子どもたち。大和市の安田物産大和工場

を導入しており、参加した大和市少年消防団の小学4~6年生106人が、非常時のエネルギー供給の仕組みについて学んだ。

同社は大和市や横浜

市などの幼稚園や老人福祉施設に食事を提供しており、震災時に計画停電に悩まされた経験から、LPガスの発電機や電気自動車を利用した電気供給システム、巨大な貯水タンクを取り入れた。「食に携わる地域の企業として、災害時に地域の人たちの役に立てればと思った」と安田幹仁社長は言う。

訓練では、すべてのインフラが止まったという想定のもと、社員らが非常電源確保の手順を確認しながら食事を作り、子供たちは熱心に説明に聴き入っていた。

【山田麻未】

米海軍根岸住宅施設の一部開放

フレンドシップデー
米海軍根岸住宅地区(横浜市中区、磯子区、南区)で12日、施設の一部を開放する日米親善イベント「第30回根岸フレンドシップデー」が開かれ、市内外から家族連れら約7100人が訪れた。

開会式では施設を管理する米海軍横須賀基地司令官のデイビッド・グレニスター大佐が「開催できたのは地域の協力のおかげ。文化の違いを理解し合い、友好的な雰囲気味わ

相模

KANAGAWA
yokohama@mainichi.co.jp

さがみ支局

- 〒243-0417 海老名市本郷2700の1 ☎046(238)5840 FAX046(238)5881
- 横浜支局 〒231-0005 横浜市中区本町1の3 緑通横浜ビル6階 ☎045(211)2471 FAX045(211)2475
- 川崎支局 〒210-0004 川崎市川崎区宮本町7の2 ☎044(244)8518 FAX044(210)1457
- 小田原支局 〒250-0013 小田原市南町4の7の11 ☎0465(22)5032 FAX0465(22)1376
- 横須賀通信部 ☎046(822)0053
- 藤沢通信部 ☎0466(22)2601
- 鎌倉通信部 ☎0467(22)0525
- 相模原通信部 ☎042(701)8229
- 平塚通信部 ☎0463(20)4608

広告は

神奈川毎日広告社 ☎045(201)6861
折込広告は毎日折込 ☎03(3208)8611

購読は

☎0120-468-012